



おかえり登米

NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」の舞台の一つ
宮城県登米市。緑あふれるまち「登米市」で
自分にあつた暮らしを見つけて
みませんか？

宮城県
登米市

住まいのある迫町は
典型的なコンパクトシティで
登米市での生活に
とても満足しています！



東京での暮らしの
ストレスがすべて解消され、
穏やかに生活できていて
とても満足しています！



春は山菜、夏は魚、
秋はきのこ・果物、冬は狩猟。
自給自足が可能な「力強い」
暮らしができます！



移住して良かったことは
地域のみなさんの人の良さです。
お世話になった方や登米市に
恩返しをしたいと思います！



登米市は

2021年度前期 NHK連続テレビ小説

「おかえりモネ」の 舞台になりました！

主演は俳優の清原果耶さんと、
「森の町」登米で青春を送るヒロインが
“天気予報”という「天気」とことん向き合う仕事を通じて
人々に幸せな「未来」を届けてゆく
希望の物語。



ふるさと納税

登米市産仙台牛
「サーロインステーキ」



登米市ならではの返礼品



天日干し・
有機栽培米使用
「玄米ごはんパック」

登米市産
「こちそう定期便」



杉の木目が美しい
「矢羽木工品」

登米市 ふるさと納税

検索



お問い合わせ
登米市まちづくり推進部観光シティプロモーション課

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
TEL 0220-23-7331 (直通) FAX 0220-22-9164
http://www.city.tome.miyagi.jp
E-MAIL tome-life@city.tome.miyagi.jp





うまし、たくまし、登米市

登米は、うまい。
 登米は、うまい。
 豊潤な登米耕土から生まれ、
 大切に育まれる恵みは、
 素朴だけど味わい深い食になる。

登米は、たくましい。
 登米は、たくましい。
 代々培われてきた地域の絆は、
 そこに暮らす人々を結び、
 たくましく生きる活力を生む。

登米は、うまくて、たくましい。



アクセス

仙台から

JRをご利用の場合

| | | | | |
|-----------------|-----|---|---|--------|
| 仙台駅発 (東北本線) | 80分 | → | ● | 石越駅★ |
| | 75分 | → | ● | 新田駅★ |
| | 70分 | → | ● | 梅ヶ沢駅★ |
| | 65分 | → | ● | 瀬峰駅★ |
| | 45分 | → | ● | 小牛田駅 |
| 小牛田駅発 (気仙沼線) | 55分 | → | ● | 陸前横山駅 |
| | 45分 | → | ● | 柳津駅★ |
| | 40分 | → | ● | 御岳堂駅 |
| | 35分 | → | ● | 陸前豊里駅★ |

東京から

JRをご利用の場合

| | | | | |
|-----|---------------|------|---|----------|
| 東京駅 | JR東北新幹線「はやぶさ」 | 90分 | → | 仙台駅 |
| 東京駅 | JR東北新幹線「はやぶさ」 | 120分 | → | くりこま高原駅★ |

高速バスご利用の場合

- 東北自動車道/登米市役所前(栗原市若柳経由) 仙台駅前(旧さくら野仙台店前)のりば→95分
- 三陸自動車道/とよま総合支所(石巻市河北追波川運動公園経由)仙台駅前(旧さくら野仙台店前)のりば→97分

マイカーご利用の場合(登米市役所まで)

- 東北自動車道 古川IC → 40分
- 東北自動車道 築館IC → 25分
- 東北自動車道 若柳金成IC → 30分
- 三陸自動車道 登米IC → 20分

仙台駅 ← 登米市役所
 ●三陸自動車道利用(86.0km)/80分
 ●東北自動車道利用(86.0km)/75分
 ※様々な交通手段で、仙台への通勤が可能です。



★印からは市民バスを利用し、市役所まで行くことができます。



目次

| | |
|----|---|
| 23 | 市の医療施設 病院・診療所一覧 歯科診療所一覧 |
| 18 | 市の各種支援策 住む 働く 子育て |
| 16 | 移住までのステップ 移住までのステップ 移住プラン例 |
| 08 | 移住者に聞きました ① 館澤 清城さん 株式会社登米村田製作所 ② 福井 貴也さん 合同会社木漏れ日農園 ③ 氏家 和寛さん 一般社団法人BAN SOU ④ 千葉 隆雄さん 里山民権かじか村 |
| 06 | 登米市の魅力紹介 見て、聞いて、体験して！登米自慢 登米市の魅力紹介 |
| 04 | 登米市へのアクセス 登米市へのアクセス 登米市のプロフィール 9つのエリアの紹介 |
| 03 | 登米市へのアクセス 登米市へのアクセス |



石越町エリア

石越冬のまつりでは、正月飾りを燃やすどんと祭の炎越しに、約1,000発の花火が打ち上げられます。数少ない冬の花火大会に、市内外から多くの人々が訪れます。



迫町エリア

日本屈指のポート場がある長沼と、ラムサール条約登録湿地の伊豆沼・内沼などの自然が豊かです。また、商業施設が集まり、利便性に優れた地域です。



中田町エリア

「仮面ライダー」、「サイボーグ009」などで有名な石ノ森章太郎先生の出身地。「石ノ森章太郎ふるさと記念館」は、先生の生家に隣接し、貴重な資料等を数多く展示しています。



東和町エリア

夏にはゲンジボタルが川面を乱舞し、三滝公園は川遊びの子どもたちで賑わいます。また、火伏せ行事の「米川の水かぶり」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

9つのエリアの特徴は？

登米市は9つのまちで構成されています。それぞれのまちの魅力をご紹介します。



南方町エリア

250種60万本のハナショウブが咲く「花菖蒲の郷公園」の園内には、幻の花「花且美」、日本庭園、独創的な現代彫刻が配置され、自然と芸術を楽しむことができます。



米山町エリア

面積の約6割を水田が占める、県下有数の穀倉地帯。春には10万株、60種のチューリップが道の駅米山(ふる里センターY・Y)の西側約1haの圃場に咲き誇ります。



豊里町エリア

夏の「YOSAKOI & ねぶた in とよさと」は、こだわりある衣装と躍動感あふれるよさこい演舞、そして、幻想的で華麗な豊里ねぶたなど見どころ満載です。



津山町エリア

面積の8割を山林が占める地域で、津山杉を活用した「木工芸の里」として知られています。木のぬくもりを生かした木工芸作品は、多くの人々に喜ばれています。



登米町エリア

教育資料館(重要文化財)、警察資料館(県指定文化財)など、明治時代の建物が多くあることから「みやぎの明治村」と呼ばれ、今もその情緒ある街並みを残しています。



とめ 登米ってどんなまち?

NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」の舞台の1つで「森の町」と紹介されている登米市。移住先は「ほど良い田舎」が人気ですが、登米市はまさにそんなところ。生活する上で必要な都市機能を備えながらも、身近に美しい自然が広がり、それを生かした遊びもたくさんある。住んでいる人には当たり前のことですが、興味が湧いたら、まずは遊びに来てください。



1 登米市は宮城県の北東部にあります

北部は岩手県に、西部は栗原市と大崎市に、南部は石巻市と涌谷町に、東部は気仙沼市と南三陸町に接しており、海のもの、山のもの、里のものに恵まれた土地です。

登米市のデータ (県内35市町村中順位)

- 面積 ……………536.12km²(第5位)
- 人口 ……………77,959人(第5位)
- 農業経営体数 ……6,348経営体(第1位)
- 年間観光客数 ……3,471,193人(第4位)
- 保育所数 ……………15ヶ所(第5位)
- 農業産出額 ……………333.4億円(第1位)

【登米市統計書(令和2年度版)】より抜粋

2 登米市は水の里です

西部は丘陵地帯、東部は山間地帯で、その間に広大で平坦、肥沃な登米耕土が広がる、県内有数の穀倉地帯です。また、北西部には毎年多くの白鳥やガンが飛来する、ラムサール条約登録湿地の伊豆沼・内沼をはじめ、長沼や平筒沼があり、まさに「水の里」に相応しい景勝地が数多くあり、市民にも親しまれています。



長沼はすまつり

長沼ポート場



3 登米市は住み良い気候です

気候は内陸性気候で、2020年平均気温は12.4°C、年間降水量は981mm、冬期の降雨量は少なく、降雪期間も比較的短く、東北地方では住みよい気候となっています。





毎年7月上旬に見られる
ゲンジボタルの乱舞

4 渡り鳥、ゲンジボタルが舞う 豊かな自然

ラムサール条約登録湿地「伊豆沼・内沼」は多種多様な生物が生息する渡り鳥の楽園です。他にも、ゲンジボタルが群生する鱒淵川など貴重な自然が数多く残っています。

とめの自慢を
ピックアップして
ご紹介します!

登米 自慢

5 宮城県唯一の 森林セラピー基地

登米市は、森林資源も豊かで、総面積の4割強が森林で占められ、「杉」の産地としても有名です。

宮城県で唯一、森林セラピー基地として認定されている「登米ふれあいの森」の園内には、8つの散策コースが整備され、四季折々の景色を楽しみながらの散策は、森林が持つ癒しの効果を十分に体感することができます。



散策の後はキャンプ!

森林セラピー基地には、キャンプ場10・オートキャンプ場15区画、コテージ5棟、売店があり、寝具、バーベキューセットのレンタルも可能。
(宿泊利用期間は4月~10月)

お問い合わせ 登米森林公園 TEL.0220-52-2075

6

「米川の水かぶり」は、ユネスコ無形文化遺産「来訪神 仮面・仮装の神々」の来訪神行事であり、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。800年以上の歴史と伝統を誇る火伏せ行事は、毎年2月の初午(はつうま)の日に東和町米川地区で開催されます。

地区の男だけが参加することができ、かまどのすすを顔に塗り、わらで作った水かぶり装束を身にまとい、大慈寺境内にある秋葉大権現に火伏せを祈願します。お神酒を頂いて神の使いとなった一行は、奇声をあげて各家庭の屋根に向かってバケツやおけの水をかけながら町を練り歩きます。地域の人たちは一行の纏っている装束からわらを抜きとり、それを自宅の屋根に投げ上げ火難除けのお守りとしています。



見て、聞いて、体験して!

環境保全米発祥の地

豊かな自然と安全・安心な食を未来へ引き継ぐため、自然との共存を目指した「環境保全型農業」を推進しています。「赤とんぼが乱舞する産地を目指そう」を合言葉にスタートした「環境保全米」の栽培は、登米市が発祥の地です。

農薬や化学肥料をできるだけ減らし、産地や栽培方法を証明する「栽培履歴簿」の記帳をはじめ、食味調査、DNA鑑定、残留農薬分析などを実施した安全で安心なお米です。



登米市でできる食・農体験!

ソーセージ作り・はっと作り・いちご大福づくり体験など

お問い合わせ
食農体験ネットワーク登米協議会
(事務局 有限会社伊豆沼農産)
TEL.0220-28-2986



全国トップレベルの味と質 「登米産牛」

登米市の「肉用牛」の生産量は東北随一であり、2018年の肉用牛市町村別産出額は約89.4億円、本州で1位、全国で7位になりました。

登米市で飼育されている肉用牛の多くは黒毛和牛で、一定以上の条件を満たした上質なものは、超高級ブランド牛肉「仙台牛」として出荷されています。

なお、平成29年度に開催された「第11回全国和牛能力共進会宮城大会」第2区部門において、登米市の畜産農家が日本一に当たる賞を獲得しました。



「仙台牛」とは

㈱日本食肉格付協会が行う「枝肉取引規格」という日本全国共通の基準に基づいたランク付けで、肉質等級「5」と評されたものだけが名乗ることができる、超高級ブランド牛肉「仙台牛」。その約4割が登米地域産です。

日本有数のボート場

「長沼ボート場」は、全国でも4か所しかない国際A級コースの優れた競技環境を持つボート競技場です。

全国各地のボート選手が、練習や強化合宿、競技大会などで訪れるほか、子どもたちをはじめとした市民が海洋性スポーツを気軽に楽しめる交流施設として、多くの方々に利用され親しまれています。

長沼で、カヌー、ボート、ヨットなどのマリンスポーツを本格体験!

専門スタッフの指導つきで初めての方も安心です。
(要予約)

お問い合わせ
登米市体育協会 TEL.0220-34-7302



8月には、「長沼はすまつり」が開催され、湖面いっぱいに咲くハスを楽しむことができます。

プロフィール

家族構成…夫婦2人で移住。
出身は、岩手県盛岡市。大学進学で北海道に行き、その後国家公務員となり北海道、東京、宮城などの転勤を経験。公務員時代は、「忙しい日々でありながら充実感のある毎日を送っていた。普通であれば経験できないような貴重な経験をする中で、大きく成長できた日々だった。」と振り返ります。

登米市での豊かな暮らしに大満足です!

インタビュー① 舘澤 清城さん



「人づくり」の仕事に燃える舘澤さん

さらに、内閣府に出向し、全国の自治体に出張して研修講師の仕事をしてきた際、地方で豊か

は、北海道の大学を卒業後、国土交通省に入省され、北海道や東京都で勤務された後、東日本大震災後に石巻市に赴任され、震災復興の仕事に携わりました。その際、故郷盛岡から流れる「北上川」の復興に尽力できることに使命感と感慨深さを感じ、またそこで一緒に仕事をした方々の「人の温かさ」に触れ、改めて東北を好きになれたと教えてくれました。

きっかけは「北上川」と「人の温かさ」

岩手県盛岡市出身の舘澤さん

「弊社ではリーダー教育を、外部講師を招いてスキルや心構えについて時間をかけてじっくり行っています。私が受けてきた

送っているそうです。
「弊社ではリーダー教育を、外部講師を招いてスキルや心構えについて時間をかけてじっくり行っています。私が受けてきた

仕事も日々充実している!

「登米市での生活にはとても満足しています。住まいのある迫町は典型的なコンパクトシティで、職場まで自転車ですぐのアクセスの良さ、スーパーも近くにあり、登米市産のおいしい野菜も簡単に安価で手に入るし、道の駅巡りも楽しいです。ショッピングセンターもあって衣類等の買い物も困りません。また、車で20分も行け

リーダー教育は、ライオンを谷に突き落として這い上がるのを待つように、激務の中で自分で考えて体得していくものだったので、それを研修で体系的に習得できるというところに感銘を受けて、今それを楽しくやっています。公務員と民間企業の違いを分かって、いとこ取りが出来るのは自分の強みだと思っているので、更に付加価値を付けて発展させていきたいです。」と意気込みを語ってくれました。

豊かな暮らしに大満足!

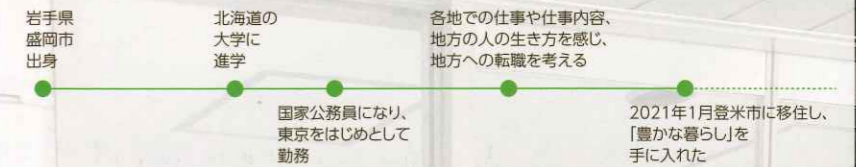
「登米市は実は交通のアクセスがよく、自分の実家の盛岡市まで1時間50分くらい、妻の実家の大崎市まで40分くらいとても便利です。東京で働いていた時に比べ、通勤時間と残業時間が減ったことで、自分の時間と、妻や実家の家族と過ごす時間がとても増えて、日々心豊かに暮らしています。」と喜んで語ってくれました。

「登米市は実は交通のアクセスがよく、自分の実家の盛岡市まで1時間50分くらい、妻の実家の大崎市まで40分くらいとても便利です。東京で働いていた時に比べ、通勤時間と残業時間が減ったことで、自分の時間と、妻や実家の家族と過ごす時間がとても増えて、日々心豊かに暮らしています。」と喜んで語ってくれました。



社食のおいしいお昼にニコリ♪

年表



muRata
登米村田製作所

登米村田製作所について

登米村田製作所は、村田製作所のグループ企業として、「チップインダクタ」を生産しており、その生産量・シェアともに世界トップクラスです。
登米村田製作所では、積極的に社会・地域との交流活動を展開しています。





仲間と一緒に農園でいい汗かいています!

インタビュー② 福井 貴也さん

プロフィール

登米市での家族構成…単身(妻と登米市で暮らすことを計画中)
北海道札幌市出身。岩手県の大学で森林科学を学ぶ。卒業後上京し、大学で学んだ森林についての知識を生かした仕事に就き、森林管理、造園、都市公園の整備など行ってきました。

年表

| | | |
|----------|-----------------------|------------------------|
| 北海道札幌市出身 | 18歳 岩手県の大学で森林科学を専攻 | 東京で 森林・街路樹等管理の仕事に就職 |
|----------|-----------------------|------------------------|

大学2年生のときに震災復興のイベントに参加したときに、のちに一緒に働くことになる「鎌田大地」さんと友達になる

2021年4月
「鎌田大地」さんが代表を務める「木漏れ日農園」に就職



きっかけは友人

福井さんが登米市に移り住むきっかけとなったのは、大学2年生の時に友達の付き合い合程度で参加した仙台市で開催された震災復興イベントで、鎌田大地さん(現 合同会社木漏れ日農園代表)と出会ったことです。岩手県の大学で森林科学を専攻していた福井さんは、宮城県の大学で農業を学ぶ鎌田さんと意気投合し、すぐに仲良くなったそうです。大学を卒業し、東京に就職した後も、長期の休みを利用して登米市で農業をしている鎌田さ



山間に広がる木漏れ日農園

んのところを何度か訪れ、一緒に農作業をしてきました。

もともと「ゆくゆくは東京ではなく、四季のバランスのよい東北地方の田舎で暮らしたい。」と考えていた福井さんは、仕事上、全国のいなかを巡りながら将来暮らす場所を探していましたが、最終的には仲の良い鎌田さんがいる登米市に移住することを決めたとのこと。

登米市の移住支援制度を活用

登米市に住むことを決めた福井さんは、登米市がどんなところなのかを知るため「登米市移住お試し住宅」を利用。4泊5日の滞在期間中に市内を巡り、「住むとどんな感じなのか生活環境を体験することができた。」と話していました。

く空き家になる物件を見つけることができたといい、市の移住支援制度を活用していただきました。

穏やかな生活ができる

令和3年1月に登米市に移り住み、4月から合同会社木漏れ日農園に就職した福井さん。登米市での暮らしの感想を伺ったところ、「東京で暮らしていたときは何かと日常的にストレスを感じるものが多かったが、登米市に来てからはそのマイナスが全て解消され、穏やかに生活できていても満足しています。」と笑顔で語ってくれました。

「今後も畑を増やしていく予定で、まだ耕作放棄地などがあるので少しずつ畑として拡大していきたい。地域の方々や地権者とは区長さんが引き合わせてくれて、地元の人が仲間であると心強い。皆さんとてもよくしてくれていま



さつまいもの苗を植える福井さん

す。」と福井さん。地域の方々も快く土地の管理をお願いしているそうです。

「まだまだスタートしたばかりで、これからのことはわからないところもあるが、農園の仕事は身体を動かす仕事で、嫌いじゃない。むしろ仕事としてのやりがいもあり、組織に対するストレスもない。登米市にきてよかった。」と穏やかな表情で語ってくれました。



福井さんも活用した「登米市空き家情報バンク」はこちら



合同会社木漏れ日農園について

登米市伝統野菜15種、少量多品種野菜約50種、ハーブ約20種、平飼い有精自然卵、日本ミツバチの蜂蜜などを生産しています。

インターネットからでも木漏れ日農園さんの商品をお求めいただけます。



登米市の人の良さに惚れました!

インタビュー③ 氏家 和寛さん

プロフィール

氏家さんは、宮城県栗原市出身。大学進学で上京し、就職も東京のイベント会社に。その後、北海道札幌市の会社に転職。地域おこし協力隊を経て、一般社団法人BANSOUを起業。



地域おこし協力隊員が作ったペン入れをこっそりPR

地域おこし協力隊を経て起業

氏家 和寛さんが移住を考えるきっかけになったのは、札幌で生活していたときのこと。朝の満員電車の中、子どもがどこにも掴まれずに通学しているのを見て、自分の子どもが成長する環境として、本当にこのままで良のからか自問自答を繰り返したそうです。会社勤めをする中で、将来的には起業したいという目標を持っていた氏家さんが、まず二つ目のステップとして選んだのが地域おこし協力隊。「地域おこし協力隊になって地域のことを学びながら起業準備ができれば」と考えたそうです。その後、都内

移住して良かったことは、地域のみなさんの「人の良さだ」とうれしそうに話してくれました。同じ移住者の方で、応援してくれる人がいたり、「ワーキングスペース」の中では仕事を紹介してくれたり、よくしていただいたので、これまで

登米市の人に恩返ししたい

で開催された地域おこし協力隊を募るイベントに参加。地元栗原の地域おこし協力隊の話を知ったためブースを訪れるも、既に席が埋まっており、その時、席が空いていたのが隣りに出展していた登米市のブースでした。偶然の巡り合わせでしたが、そこからはとんとん拍子に話が進み、平成29年4月、登米市地域おこし協力隊として着任。登米市での生活がスタートしました。隊員として過ごした3年の間に、いろんな方が人脈を作る手助けをしてくれたり、支えてくれたそうです。

「起業して良かったことは、仕事する場所を選ばなくて良いこと。つい先日、天気が良かったので大嶽山交流広場の東屋にパソコン1つ持って仕事をしに行きました。新緑を眺めながら仕事ができるなんて、最高に気持ち良かったです。そこで偶然来ていた子どもたちにも自然豊かな環境でのびのびと生活して、子育て環境としても良かったと教えてくれました。」

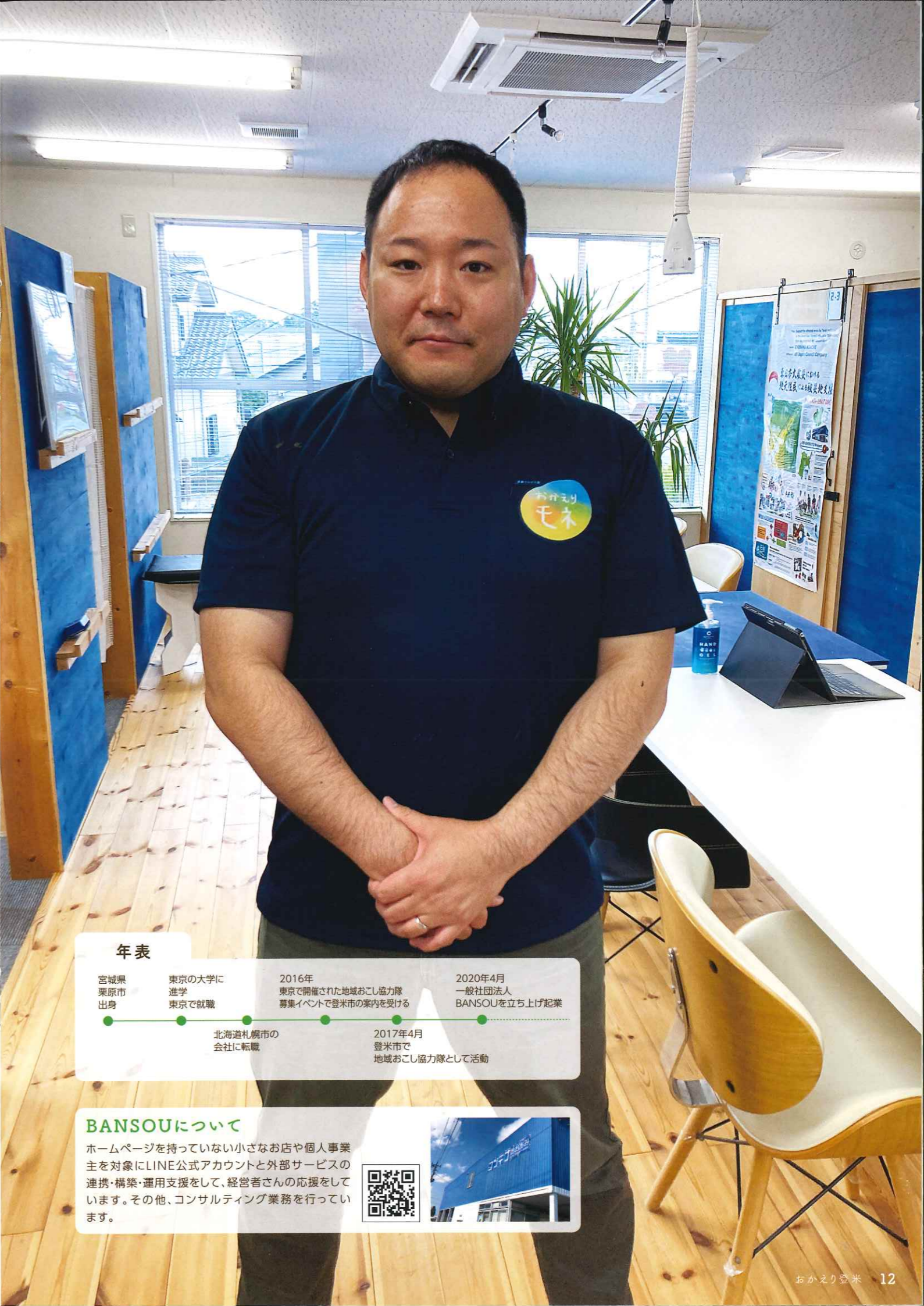
「起業して良かったことは、仕事する場所を選ばなくて良いこと。つい先日、天気が良かったので大嶽山交流広場の東屋にパソコン1つ持って仕事をしに行きました。新緑を眺めながら仕事ができるなんて、最高に気持ち良かったです。そこで偶然来ていた子どもたちにも自然豊かな環境でのびのびと生活して、子育て環境としても良かったと教えてくれました。」

「起業して良かったことは、仕事する場所を選ばなくて良いこと。つい先日、天気が良かったので大嶽山交流広場の東屋にパソコン1つ持って仕事をしに行きました。新緑を眺めながら仕事ができるなんて、最高に気持ち良かったです。そこで偶然来ていた子どもたちにも自然豊かな環境でのびのびと生活して、子育て環境としても良かったと教えてくれました。」

快適な生活



地域おこし協力隊員の相談にのる氏家さん





年表

| | | | |
|----------|-------------------|--|--------------------------------|
| 宮城県栗原市出身 | 東京の大学に進学 東京で就職 | 2016年 東京で開催された地域おこし協力隊募集イベントで登米市の案内を受ける | 2020年4月 一般社団法人BANSOUを立ち上げ起業 |
| | 北海道札幌市の会社に転職 | 2017年4月 登米市で地域おこし協力隊として活動 | |

BANSOUについて

ホームページを持っていない小さなお店や個人事業主を対象にLINE公式アカウントと外部サービスの連携・構築・運用支援をして、経営者さんの応援をしています。その他、コンサルティング業務を行っています。

登米市で“もったいない”を活かす!

インタビュー④ 千葉 隆雄さん

二地域居住の
スタート

プロフィール
登米市での家族構成…夫婦2人
登米市出身。18歳から仙台市で暮らしている。宮城県森林インストラクター、第一種猟銃免許の資格もかじか村運営のために取得。



廃材を利用して作った合鴨小屋

千葉さんは、もともと登米市東和町の出身。「東京への集団就職から18歳で仙台に戻り、40代の頃、老後の過ごし方と人生の終焉を考えたとき、最後はふるさと登米市に戻り人々に囲まれて生活し、少しでも地域貢献が出来れば。」とUターンの経緯を教えてくださいました。

その後、50歳のとき、実家の数軒隣りが空き家になるということで譲り受け、リフォームしたの

が、現在の「里山民宿かじか村」。二地域居住のスタートとなりました。

現在、千葉さんは月曜日から木曜日に仙台の印刷屋を経営し、金曜日から日曜日に民宿経営と地域貢献活動に取り組んでいます。

“もったいない”を活かすのが得意

仙台では、何をすることも「消費」の生活であったと千葉さんは話します。水も食料も車を停めるのも、なんでもお金が必要。しかし、登米市では、「転じて」「生産」する生活に変化したそうです。「人間本来の、マタギ生活を、行うことができている。春は山菜、夏は魚、秋はきのこ、果物、冬は狩猟。何よりも水と燃料すべて無償で調達でき、自給自足が可能な「力強い」暮らし、「魅力ある」暮らしができる。」と登米市の良さを語ってくれました。



天気の良い時に外でくつろげるウッドデッキも千葉さんの手作り

そんな登米市で、空き家や空き地、未使用スペースの増加など、活路を失ったものがとても多く、もったいないと教えてくださいました。千葉さんは自分でも「もったいないものを活かすのが得意」とのこと、もったいない空き家を「私も住んでみたいかじか村」に蘇らせました。

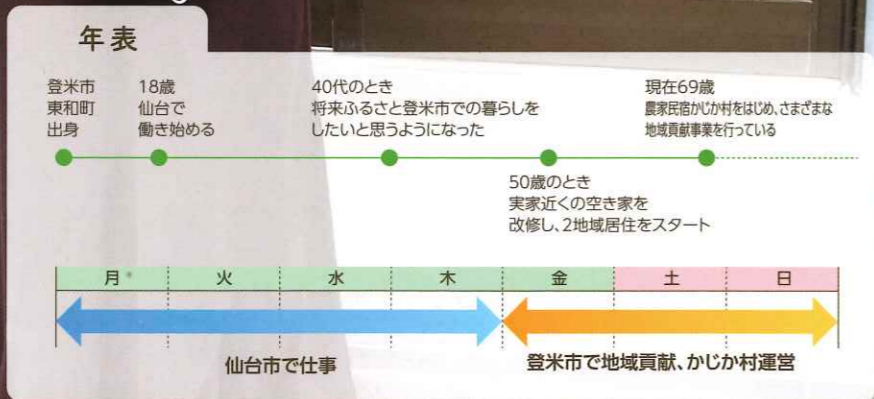
遊休地に植栽したカエデから、メイプルシロップを作ったり、廃材を利用して合鴨の飼育小屋を作ったり、こまめに草刈りを行うことで、きれいな里山の景観を活かしたりと、これからまだまだやりたい事がたくさんあるよ

人生のビジョンをしっかりと持てば揺らぐことはない

里山民宿を運営し、いろいろな人に囲まれて暮らすことが、人生設計の1つであると千葉さんは話します。「ビジョンをしっかりと決めた上で動き出せば、その後に迷うことはなく集中できる。目標に向かって一生懸命生きるだけ。1年後を目途に民宿の経営と地域貢献活動に専念し、更にいろいろな「トヤ・モノ」を蘇らせていきたい」と、とてもいきいきとした表情で話してくれました。

うでした。

東日本大震災後に、被災したたくさんの方々が「かじか村」を訪れて自然に触れ、とてもリフレッシュして帰っていったそうです。「街でショッピングするとかより、ここでの時間を選んだ人がたくさんいた。それだけ、ここには人を癒す里山力がある」と教えてくださいました。



かじか村について

農家民宿、里山体験、ジビエ料理、キャンプなど様々な自然体験ができます。かじか村の由来は、かじかが生息できるような環境を保つという意味です。お客様1人1人に合わせたすごし方プランを組んでくれることも大きな魅力の1つです。

移住までのステップ

移住を実践するまでには、いくつかのステップを踏む必要があります。そのプロセスは人それぞれですが、ここでは基本となるステップをご紹介します。しっかりと準備をして、より良い移住になるようにご検討下さい。



STEP 1 移住する目的を整理

最初は、「何となく生活を変えたい」「このまちいいなあ」という漠然とした思いから移住を考えるものです。ただ、最終的に、移住する目的が明確でないと、実際に生活してから後悔するかもしれません。「登米市で農業をする」「自然豊かなところで子育てする」「家庭菜園をする」など、移住する目的を明確にしましょう。

また、家族で移住する場合、家族の協力がなければ、ご自身が望む移住生活の実現は困難です。移住を考え始めたら、家族と時間をかけてじっくりと話し合い、皆が納得した上で移住までのプロセスを具体化していきましょう。



STEP 2 情報収集・相談

移住の目的や移住後の生活のイメージが固まってきたら、移住先の情報を収集しましょう。登米市では、「登米市移住・定住サポートセンター」を設置し、移住や定住を希望する方を対象に相談業務を行っておりますので、情報収集や相談をしたい際には、ぜひご活用ください。

また、インターネットを使って情報を集めることも容易になってきましたので上手に活用しましょう。お子様がいる家庭であれば、保育園・幼稚園・学校、病院までの距離は生活する上で重要ですね。



STEP 3 現地を確認

移住先を訪問し、現地での生活をイメージしてみましょう。

登米市では、無料で利用できる移住お試し住宅をご用意しています。また、登米市の魅力を体感するための体験ツアーを実施しておりますので、これらを活用して、事前に登米市での生活を体験しましょう。その中で、地元の方との交流が生まれ、インターネットにはない有益な情報を得ることができるかもしれません。→移住お試し住宅(18P)



STEP 4 仕事を探す

生活の基盤となる「仕事」はとても大切です。移住先で就職先を見つけることは、人によっては、想像以上にハードルが高いケースもあります。

事前に、ハローワークや転職サイトなどを活用し、じっくりと検討し、後悔のないようにしたいものです。→働く(21P)



STEP 5 住まい探し

アパート、一戸建ての貸家、マンション、新築・中古住宅など様々な選択肢があります。予算、間取り、立地などを考慮し、自分の生活にあった住宅を探してみましょう。

また、市のホームページで空き家バンクに登録された物件情報を公開しております。価格が安くても改修費がかさむものもあるので事前によく確認することをおすすめします。なお、登米市では、住まいに関する助成制度もありますので、ぜひご活用ください。→住む(19P)



STEP 6 移住の準備

居住する地域によっては、自家用車がないと生活がとても不便になりますので、事前に準備しておくことをお勧めします。

また、現居住地で転居の手続き等を済ませましょう。



STEP 7 移住・あいさつ回り

無事、引越しが終わったら、その地区の区長さんを紹介してもらい、ご挨拶に伺いましょう。ご近所への挨拶回りをきちんとすることは、移住後に地域住民との関係を維持するために大切です。

また、地域に溶け込むためにも地域の行事に参加してはいかがでしょうか。必要に応じて、市の移住担当者が橋渡しの役割を致しますのでご安心ください。



移住プラン例 / 30代の夫婦子ども1人

目的：子供が小学生になる前に戸建ての家が欲しい！子供にものびのび育てほしい。

① 仕事探し

就職・転職先となる仕事を探す(就農やハローワークなど。登米市では働き盛りの人材を求めている企業がたくさんあります。)… P21「登米市内の企業に就職する」

② 住まいを探す

空き地や建売の住宅もあります。ご予算と相談して選んでみましょう！登米市の不動産屋さんに問い合わせしてみましょう！→住宅を購入した場合に交付する補助金もあります。… P19「住宅取得補助金」
空き家情報バンクに登録した物件を改修して住むこともできます。
→改修する場合は、補助金の給付もあります。… P19「空き家改修事業補助金」

③ 移住

④ 子育て支援を受ける

奥様が就活中も保育園でお子様を預かることが可能です。
18歳までのお子様の医療機関に支払う保険適用の自己負担分は0円です… P22「子ども医療費助成事業」

⑤ 親子ともに心身健康に楽しい生活

住む

登米市に

移住・定住される方を

サポートします！



各種支援策

住宅取得補助金

登米市外から転入し、市内に住宅を新築、または購入(中古住宅を含む)した方に、住宅の取得費総額の10%(上限50万円)を助成します。
※市内業者が施工した場合や中学生以下の子どもがいる場合、条件により補助金が加算されます。

移住体験参加促進事業補助金

県外在住の移住お試し住宅利用者と移住体験ツアー参加者を対象に、交通費・宿泊費の一部(対象経費の50%、上限3万円)を助成します。

空き家情報バンク

空き家の所有者から頂いた物件情報を「空き家情報バンク」に登録し、空き家を「借りたい・買いたい」とお考えの方に、情報を提供する仕組みです。

空き家改修事業補助金

空き家情報バンクを利用した空き家所有者・利用者に、居住する空き家改修費の50%、最大50万円を助成します。

➔ お問い合わせ/まちづくり推進部観光シティプロモーション課 TEL.0220-23-7331



地域材需要拡大支援事業

市内産材を使用(主要構造材の50%以上)して市内に居住用の住宅を建築・増築する場合、市内産材利用量に応じて最大40万円を助成します。

住宅用新エネルギー設備導入支援事業補助金

個人の住宅に、木質バイオマス燃焼機器を設置する場合、対象経費の1/3(上限10万円)を助成します。

➔ お問い合わせ/産業経済部農林振興課 TEL.0220-34-2709

➔ お問い合わせ/市民生活部環境課 TEL.0220-58-5553

定住促進住宅

市内に定住を希望し住宅を必要としている方に、一定の収入要件と公募により住まいを提供します。(市内5団地、月額家賃20,800円~30,500円、月額駐車料2,000円)

結婚新生活支援事業補助金

令和3年4月1日以降に婚姻された49歳以下の方で、婚姻を機に新たに登米市内で住宅を取得した方、住宅を賃借する方の住居費・引越し費用を支援します(補助上限額30万円)。

➔ お問い合わせ/建設部住宅都市整備課 TEL.0220-34-2316

➔ お問い合わせ/福祉事務所子育て支援課 TEL.0220-58-5562

シティプロモーションの取組の紹介 (キャッチコピー、ロゴマーク、PR動画)

登米市では、移住・定住の促進や交流人口の増加に向けて、市のイメージ、知名度を向上させる「シティプロモーション」に取り組んでいます。
平成28年9月、登米市の未来を考える市民参加型のワークショップを開催し、その中から「食材が豊富なことや「内に秘めた底力がある」という意見をもとに、「うまし、たくまし、登米市」というキャッチコピーが生まれました。登米市の魅力を全国に向けて発信するこの言葉にぴったりなロゴマークは、市内外の方の投票で決定しました。
また、平成28年11月29日に公開されたPR動画「Go!Hatto 登米無双」は、アジア最大級の国際短編映画祭である「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア(SSFF&ASIA)」において、462作品のエントリーの中から、第6回観光映像大賞(観光庁長官賞)を受賞しました。
平成29年11月には、続編「登米無双2」を、平成30年10月には「登米無双3」を公開しています。

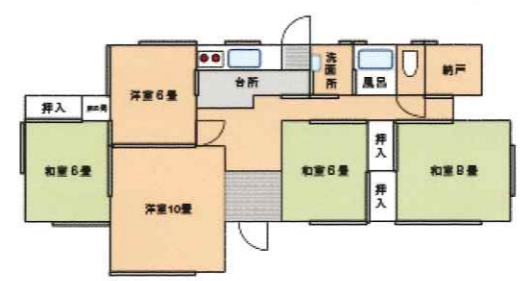
登米市シティプロモーションウェブサイト

登米市シティプロモーションロゴマーク

市の魅力を発信するシティプロモーションサポーターを募集中

詳細はこちら➔

登米市シティプロモーションサポーター募集ページ



【利用可能期間】
2泊3日以上9泊10日以内
(1月4日~12月28日)

【施設詳細】
住所:登米市迫町佐沼字中江三丁目2番地2
木造平屋戸建、5K
市役所5分、コンビニ2分、スーパー5分
※車移動

各種生活用品、電化製品を備え付けております。
※寝具、歯ブラシ等は各自ご用意ください。

➔ お問い合わせ
まちづくり推進部観光シティプロモーション課
TEL.0220-23-7331
E-mail:tome-life@city.tome.miyagi.jp

登米市移住お試し住宅
登米市では、移住を検討している皆さんに登米市での暮らしを体感していただくため、短期間滞在できる「移住お試し住宅」をご用意しています。
滞在中、要望に応じて市の観光施設等をご案内させていただきます。
「無料」でご利用いただけますので、移住の検討にぜひご利用ください。
最新の予約状況は、市のホームページで公開していますのでご確認ください。

※本パンフレットに記載されている内容は、令和3年4月時点のものです。

各種支援策

新規就農者支援事業

新規就農希望者が市内農家(農業法人等)で研修する場合、研修終了後、市内で5年以上就農することを条件に、生活費の一部を助成します。
 独身者:月額30,000円以内 夫婦:月額50,000円以内

担い手経営開始支援事業

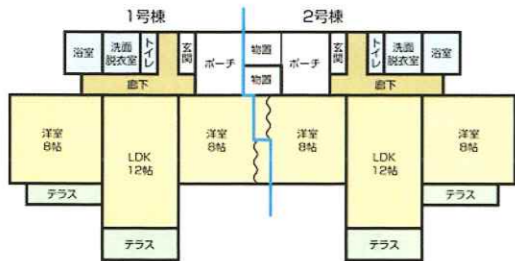
新規就農者が市内で5年以上就農することを条件に、農地を取得または賃借する場合、10a当たり5,000円を助成します。

みやぎ農業研修生滞在施設

新規就農者が自宅以外の市内農家(農業法人等)で研修をする場合、優先的に使用できます。



使用料金
 ●1室当たり月額20,000円
 ※1か月に満たない場合は日割り計算



お問い合わせ/産業経済部産業総務課
 TEL.0220-34-2716

ビジネスチャンス支援事業

●創業支援事業

農・商・工分野の地域資源を活かした起業・創業を行う方、または、地域社会の課題解決に取り組むソーシャルビジネスにより起業・創業を行う方に対して、創業時に必要とする設備資金・運転資金へ最大200万円を助成します。

●産業支援事業

地域経済の活性化を図るための事業のうち商品開発、販路開拓・人材育成、施設・機械等整備、店舗改修などに要する経費を助成します。
 ※市内に住所または主たる事業所を有し事業を行う法人、団体および個人事業主を対象とします。

●空き店舗活用支援事業

市内にある空き店舗を活用し新規出店される方に対し、店舗改修費を最大50万円、店舗賃借料を月額最大2万円を1年間助成します。

お問い合わせ/産業経済部地域ビジネス支援課
 TEL.0220-34-2706

移住支援事業

移住直前の10年間のうち、通算5年以上、東京圏(条件不利地域を除く)に在住し、東京23区に通勤していた方が、みやぎ移住サポートセンターに登録し、「みやぎ移住ガイド」に掲載されている中小企業等に就職した場合、世帯移住で100万円、単身移住で60万円を助成します。

お問い合わせ/まちづくり推進部観光シティプロモーション課
 TEL.0220-23-7331

登米市内の企業に就職する

●ハローワークインターネットサービス
 URL:<https://www.hellowork.mhlw.go.jp/>



ハローワーク
 インターネット
 サービス

●登米市ホームページ(下記URL)で、ハローワークはさま(迫公共職業安定所)が発行している求人情報を毎週掲載しています。
http://www.city.tome.miyagi.jp/business/shisejoho/shushoku/shushokushien/tomekyujinjouhou_001.html



登米市
 求人情報
 ページ

●ハローワークはさま TEL:0220-22-8609 登米市迫町佐沼字内町42-10

情報収集

選考

就職活動などで登米市に滞在する方は、移住お試し住宅の利用をお勧めします。 →移住お試し住宅(18P)

採用

住まい探しのお手伝い、その他移住・定住に関するご相談は観光シティプロモーション課までお問い合わせください。
 →住まいの支援制度(19P) →移住までのステップ(16P)

※本パンフレットに記載されている内容は、令和3年4月時点のものです。

働く

登米市で働く人を
 応援します。



就農相談を受け付けています

登米市は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた、県内でも有数の農業が盛んな地域です。
 就農までの過程、各種支援制度等のご相談については、下記担当課までお問い合わせください。



お問い合わせ
 産業経済部産業総務課
 TEL.0220-34-2716

